



2023年6月
ゆらりん仙川保育園
管理栄養士

そろそろ梅雨の季節がやってきますね。湿度が高く過ごしにくい日が続き、食欲も落ちやすい時期です。また、食中毒菌の過ごしやすい時期となりますがしっかりと衛生管理を行い安心安全な給食提供に努めてまいります。



毎年6月は食育月間です。

6月は食育基本法が制定された月であることから、食育月間として食育に対する理解を深め、食育推進活動への積極的な参加を促し、その一層の充実と定着を図るために定められています。

- ・食を通じたコミュニケーションの促進と子どもの生活リズムの向上
- ・健康寿命の延伸の為の食生活の実施
- ・食の循環や環境への意識
- ・伝統的な食文化に関する関心と理解

等に重点を置きこの食育月間中は国や各自治体、地域等で様々な食育推進運動の展開を行っています。ご家庭でもいつもの食生活を見直したり、子どもたちに食事の準備などのお手伝いをお願いしてみるきっかけにしてみてください。保育園でも年間を通して食の大切さを伝えたり、様々な食体験をしたりできるような食育活動を計画していきます。



【クラスの様子】

くまのみ組

りんごに触れました。レジャーシートを敷いてその上にりんごを沢山並べるとりんごを両手で持って持ち上げたり、転がしたり、食べてみようとしたりと自由に触れていました。遊びの中で食材に触れながら食べ物や食べることに興味を持てるようにしていきたいです。また、名前や色など丁寧に伝えていきたいと思えます。来月はどんな食材が登場するか楽しみにしてください。

ぺんぎん組

新しい生活にも慣れ段々と自己主張が出来るようになり、食事中にイヤイヤとすることもありますが、食べる順番を変えたり、言葉かけをすると食べられていますよ。また離乳食ではないですが月齢によって発達に差がある年齢の為、それぞれが食べやすいように食材の大きさや形を検討しながら提供しています。食育活動ではりんごに触れました。子どもたちの好きな絵本や手遊びに登場するりんご。手遊び歌に合わせて『りんごごろごろ』とテーブルの上でりんごを転がしてみたり、へたを引っ張ってみたり、かぶりつく真似をしてみたりなどたくさん触れていました。どんな匂いがするかな？と聞くとりんごを鼻に近づける姿も見られとても可愛かったです。

いるか組

ミニトマトときゅうりの栽培を始めました。子ども達も実がなるのを楽しみにしています。育てた野菜は子ども達とクッキングをしたり、給食で食べたいと考えています。苦手な食べ物がはっきりする時期かと思いますが、本当に嫌いになる前に栽培や食育活動を通じて食べてみよう、食べてみたいと思えるような機会を作りたいと思います。またご家庭でも家族がおいしそうに食べている姿をみて、食べてみようかな？と思えるように、残すことになったとしても家族と同じものを配膳することをお勧めします。

くじら組

とうもろこしの栽培を始めました。どのように生長していくか、楽しみです。また、今月は夏野菜の栽培もスタートします。収穫した野菜は子どもたちと一緒に食べ方を考えてクッキングしたいと思えます。

チーム5は給食の時間に箸を使い始める予定です。先立ちまして、ご家庭での使用状況をコドモンにて教えて頂けると幸いです。



家庭での食中毒予防

食中毒の予防は、細菌やウイルスを『つけない』『増やさない』『やっつける』ことが3原則です。調理前の手洗い、調理後はすぐ食べる、十分に加熱するなど気をつけましょう。

給食室の衛生管理

食中毒の原因となるウイルスや細菌のほとんどは、加熱することで退治できます。園での調理は、料理が中心まで十分に加熱されているか温度計で計測（85℃で1分以上）しています。調理器具や食器、ふきん、スポンジなどは、消毒保管庫や次亜塩素酸ナトリウムで消毒しています。

また、職員は毎日の体調チェックや毎月の細菌検査を行いマスクを着用し、しっかり手洗いをした上で、アルコール消毒を行うなど食中毒の予防に努めています。

